

(別添)

財政状況等一覧表（平成18年度）

(百万円)

団体名 木更津市

標準財政規模 (A)	臨時財政対策 債発行可能額 (B)	合計 (A)+(B)
20,808	1,106	21,914

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの）

(百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの 繰入金	備考
一般会計	31,355	30,260	1,095	1,073	27,466	-	基金から 908百万円繰入
普通会計	31,355	30,260	1,095	1,073	27,466	-	基金から 908百万円繰入

2 1以外の特別会計の財政状況（公営企業を含む公営事業会計に係るもの）

(百万円, %)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	<法適用以外> 形式収支	純損益 (実質収支)	企業債(地方 債)現在高	他会計からの 繰入金	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
国民健康保険特別会計	12,023	12,013	10	10	-	894	-	-	-	
老人保健特別会計	7,238	7,236	3	3	-	582	-	-	-	
介護保険特別会計	5,262	5,166	96	90	0	816	-	-	-	
水道事業会計	3,728	3,636	-	92	7,497	4	103.2	0	157	法適用企業
市場事業特別会計	77	77	-	-	63	20	-	-	-	
駐車場事業特別会計	323	323	-	-	997	276	-	-	-	
公共下水道事業特別会計	3,149	3,035	114	1	21,995	1,522	-	-	-	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
2. 法適用企業に係るもの以外のものについては、「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「実質収支」を表示している。
3. 不良債務及び累積欠損金は、正数で表示している。

3 関係する一部事務組合等の財政状況

(百万円, %)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	<法適用以外> 形式収支	実質収支 (純損益)	地方債(企業 債)現在高	当該団体の負 担金割合	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
千葉県市町村総合事務組合	33,340	32,424	916	371	3	3.4	-	-	-	普通会計
千葉県市町村総合事務組合 (交通災害共済特別会計)	153	138	15	15	-	-	-	-	-	公営事業会計
君津郡市広域市町村圏事務組合	860	792	68	68	22	36.3	-	-	-	
千葉県後高齢者医療広域連合	40	35	5	5	0	2.1	-	-	-	
君津広域水道企業団	6,512	6,435	-	77	27,353	-	101.3	0	0	法適用企業 繰出金179百万円
君津中央病院企業団	15,589	15,510	-	79	25,936	-	100.9	0	0	法適用企業 繰出金658百万円

- (注) 1. 法適用企業に係るものについては、「歳入」「歳出」「実質収支」の欄に、それぞれ「総収益」「総費用」「純損益」を表示している。

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(百万円)

	経常損益	資本又は 正味財産	当該団体か らの出資金	当該団体か らの補助金	当該団体か らの貸付金	当該団体か らの債務保証に 係る債務残高	当該団体か らの損失補償に 係る債務残高	備考
木更津土地開発公社	6	728	5	-	-	7,110	-	
かずさディー・エヌ・エー研究所	△ 25	4,906	30	1	-	-	-	
株式会社かずさアカデミアパーク	△ 38	△ 3,030	500	-	-	-	55	
財団法人木更津水道サービスセンター	10	133	5	-	-	-	-	

- (注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

5 財政指数

財政力指数	0.83	実質収支比率	5.2
実質公債費比率	16.8	経常収支比率	91.0

- (注) 実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3カ年平均である。